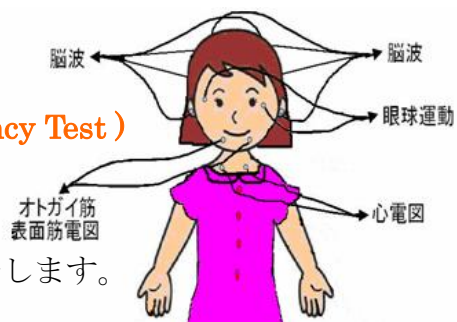


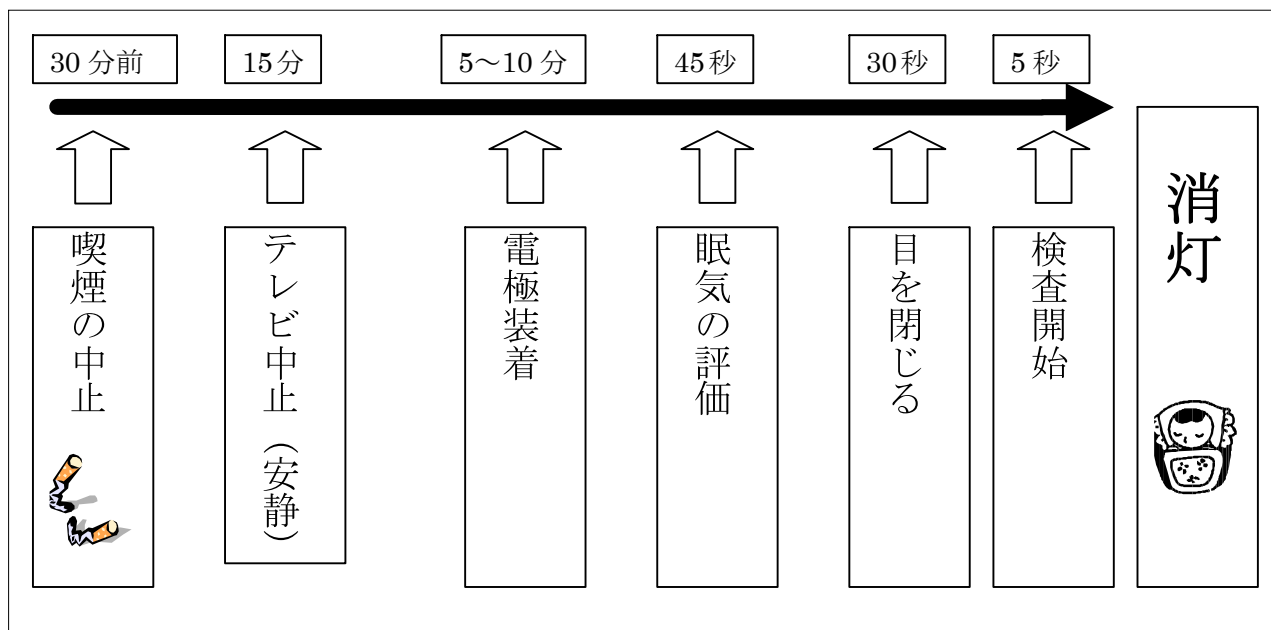
睡眠潜時反復テスト (MSLT: Multiple Sleep Latency Test)



この検査は過度の日中の眠気を引き起こすような疾患の診断、及び日中の眠気を評価します。

検査は脳波、眼球運動、心電図、筋電図などの電極を体に装着します。

【検査の流れ】



◆上記スケジュールで2時間おきに約5回の検査を行います。

例：9時、11時、13時、15時、17時

◆測定は毎回、脳波上眠っていると判断したところから15分間の記録、もしくは脳波上眠っていない場合20分間で検査終了です。

◆検査の電極類は5回目の検査が終了するまで装着して頂きます。センサーの取り外しなどありますので、18時ごろの終了になります。

◆昼食は11時~13時の間になるべく院内で済ませてください。持込可能です。

◆検査料金は3割負担の方で15,000円前後となります。

【注意事項】

◆検査室入室後は携帯電話の電源をOFFにしてください。

◆睡眠薬を処方されている方、内服されている方は医師にご相談下さい。

※ 場合によっては、検査2週間前より断薬の可能性があります。

◆睡眠不足は検査に影響しますので睡眠不足のない状態でお越しください。

◆カフェインを含む飲み物は検査に影響しますのでご遠慮下さい。(コーヒー・紅茶など)

【持参するもの】 枕、パジャマ、昼食、飲み物など

～判定～

【成人判定基準】

平均睡眠潜時 5 分以下：病的眠気が強い

10 分以上：正常範囲

5～10 分：境界領域

【ナルコレプシーの診断基準】

平均睡眠潜時：8 分以下

SOREMP の出現が 2 回以上あること

* SOREMP（入眠時 REM 期）とは…

入眠時点から 15 分以内に REM 睡眠が出現した場合